

目標達成計画

作成日: 令和 6年 4月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	20	コロナ禍の中で、地域や家族との交流が減少してきた為、外に出る機会が減った。	コロナ禍が終わり、地域での新しい馴染みの関係づくりや交流を増やしていく。	地域での行事に参加したり、家族との外出機会を増やしていく。 面会の制限を撤廃し、いつでも気軽に家族が会いに来れる状況を作る。	6ヶ月
2	23	コロナ禍で利用者の希望に添えることがなかなか難しかった。特に外での活動に制限があった。	利用者の希望を聞き、それに沿ったイベントや課外活動を増やしていく。 一人ひとりへの関わる時間を増やし、日々の生活を充実したものにして頂く。	カンファレンスを行い、本人や家族の意見を求めてサービスに反映できるようにする。	2ヶ月
3	33	重度化や終末期を迎えた方への方針の共有と支援を十分に行えていない。	重度化や終末期に向けた利用者や家族への方針の説明を行う。将来に不安を訴える家族にはその都度説明をし、意見や意向を確認する。	利用者が重度化した場合は、本人、家族、主治医との話し合いの場を設定し、希望に沿った方向を決めていく。「看取り介護について」の同意書を再度説明し、同意を得る。	6ヶ月
4	54	コロナ禍において、施設内の居室への家族の訪室ができなかった。	面会に来られたり、訪ねてこられた家族には本人の居室内にも訪ねてもらい、本人と家族との接点をもっと作ってもらう。	面会の制限は解除になったが、訪室の制限はまだある為、徐々に緩和していく。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。